波佐見中学校　学校だより　No.1

「よりよい未来の創造」

「情熱」「絆」「感動」

発行　令和５年４月７日

「己に厳しく　人に優しく」

波佐見町立波佐見中学校
校 長　酒 井　一 男

歓迎式・始業式

４月６日（木）の歓迎式で、新たに着任した８名の職員を紹介しました。３年生の内田ゆずはさんの歓迎のことばを受け、着任した職員一同、決意を新たにしました。

その後、始業式を行いました。私からは、校訓「己に厳しく　人に優しく」と学校教育目標「学びを生かし、よりよい未来を創造する生徒の育成」のもと、めざす生徒像を、開校当時に思いをはせ、校歌の１番から「身を鍛え、知恵みがく生徒」と改めたことを伝え、身を鍛え、知恵を磨きながら、生きて働く知識・技能・徳を、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力を、そして、学びを生かそうとする力を身に付け、変化の激しい社会に対応できるようになってほしいと話しました。また、学校生活のキーワードを「情熱」「絆」「感動」としたことも伝え、「情熱」に満ちた学校、共に学び磨き合い「絆」が深まる学校、「感動」があふれる学校を、一緒に創っていきたいと話しました。そして、３年生と２年生のそれぞれに対してメッセージを伝え、「日々の授業をはじめ、学校行事や部活動などの一つ一つの活動を大切にしてほしい。」、「身に付けた知識・技能や徳を生かしながら、考え、判断し、表現し、将来の基礎基本となる資質・能力を身に付けてほしい。」と話しました。

生徒会代表の眞嶋慧太さんは「２年生は、中学校生活初めての後輩ができます。先輩たちから学んだことを１年生に教え、良い先輩となり、学校行事や部活動などで３年生を支えて、学校の中心となる準備をしてほしい。３年生は最上級生となり、波佐見中学校のリーダーとなります。その自覚を持ち、後輩たちのお手本となれるような言動を心がけましょう。また、受験生という自覚を早い段階で持ち、日々の授業はもちろんのこと、復習にも力を入れ、受験への準備をしていきましょう。」と、そして、生徒会スローガンをもとに、「相手に伝わる挨拶ができるよう心がけ、よりよい波佐見中をみんなで創り上げていきましょう。」と、３年生代表の小佐々美空さんは「部活動では、残りの活動時間を有意義に使い、目標を達成できるよう、チームの一員として積極的に活動していきたい。また、部活動と学業を両立できるようにしていきたい。学校生活では、自分に任された役割に対して、責任を持って取り組んでいきたい。受験勉強について、３年生には目の前に受験という大きな壁が立ちはだかっていますが、必ず乗り越えられるよう、努力を続けたい。そのためにも、日々の授業を大切にし、少しずつ力をつけ、受験を乗り越えるための学力を確実に身につけていきたい。」と、２年生代表の山下暖人さんは「自ら進んで挨拶をすることを意識して行動したい。苦手なことにもあきらめずに取り組みたい。」と、１年間の抱負を語ってくれました。また、各学年に向け、それぞれから、勇気が出たり、やる気が高まる呼びかけもあり、充実した１年間になると確信しました。

お知らせ

「横枕２号線通行規制」について、教育委員会から連絡がありましたので、お知らせします。春休みなどの長期休業中も規制は有効なのかとの問い合わせがあり、有効であると回答されたそうです。保護者の皆様におかれましても、通行の際はご注意ください。

※交通規制内容

土曜・日曜・休日（祝日や振替休日）を除く午前7時から8時30分までの車両通行止め。ただし、自転車などの軽車両及び一部の農耕用車両などの小型特殊車両は通行可能。

教育相談

本校には、心理の専門家であるスクールカウンセラーと、福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカーが勤務しており、気軽に相談することができます。校長・教頭・担当（三根教諭）・担任までご連絡ください。

また、波佐見町では、いじめや不登校などの相談に対応する専用電話が設置されています。何かお困りの時、だれにも相談できないという時など、気軽にご相談ください。**波佐見町教育相談専用電話　０９５６－８５－３８９９**

※本年度の学校経営方針を裏面に掲載しています。全職員で、心を一つにし、よりよい学校を創造するため努めてまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。